Kyoto University of Foreign Studies / Kyoto Junior College of Foreign Languages

COMMIT Together Now!

京都外国語大学
京都外国語短期大学
後援会会報

Vol.79
2023 Spring

みんなで楽しく！

委員交流会 日帰りバスツアー

写真撮影のため、マスクを外しております。

昨年の12月3日（土）、京都観光日帰りバスツアーを開催しました。参加者35名で京都駅を出発し、はじめに国宝三十三間堂へGO‼ 委員会や私用で何度も京都に足を運んでいる私たちですが、ここは初めて訪れるという方が大半。1001体のご本尊をゆっくり拝観し、参加者からは「心が洗浄されました」といったコメントも。庭園のもみじも真っ赤に色づいていました。本バスツアーの目玉、“フレンチダイニングトップオブキョウト”の会食会は19名の大学教職員の方をお招きしてテーブルを囲みました。普段ゆっくりとお話できない中、先生たちの留学体験や「日本ってどんな国?と質問された時に自分の住む町をアピール出来る様にもっともっと日本を知ってほしい」などフレンドリーな話や、ホテル14階からの景色も堪能し、時を忘れさせてくれました。

午後は宇治茶で有名な三星園上林三入本店にて宇治茶資料館見学、抹茶作り体験。自分でお茶を点て一服。茶道のお茶は苦いイメージですが一口含むと甘く、日頃の疲れが抹茶と共にスーッと喉に流れていきました。最後は世界文化遺産平等院に参拝。鳳凰堂の阿弥陀如来坐像の風格は古都京都を物語り、静かに私たちを見守っているかの様でした。交流会は名残惜しく、楽しい時間となりました。来年は皆さんも一緒に参加しませんか！

（広報部会　篠原 英子）

参加者の声

初対面の方もいて、ぎこちなかった私も、ゲームや見学、ランチをしている間に打ち解け、お別れするのが名残惜しい程に。次回も参加したいです。（運営部会　石川 知代）

参加者の声

保護者の方々や教授、大学職員の方々と留学や就職のこと等興味深いお話をたくさん聞くことができ、とても有意義な時間でした。　（広報部会　井上 森）

活動メンバー募集のお知らせ

後援会活動に参加しませんか?

京都外国語大学・京都外国語短期大学後援会には以下の3つの部会があり、保証人（保護者）同士が親しく交流しながら学生たちのために活動しています。

広報部会
年に3回発行する後援会会報誌『COMMIT』の企画・取材・編集などを担当

会計部会
後援会費を有意義に使うための協議を担当

運営部会
後援会や大学のイベントのお手伝いを担当

キャリアセンター長に聞く!＜後編＞

前号に引き続き、日野 直樹キャリアセンター長へのインタビュー後編です。前号のインタビューでは企業からの京都外大への期待と評価や就活に臨む姿勢について掲載しました。後編では1・2年次生から意識したいことや家庭、家族で心がけたらよいことに的をしぼっています。

アンケート結果はCOMMIT Vol.78を参照願います。

広報部会（以下、広）
「勉強全般で最も注力してほしいこと」の問いに対して「幅広い教養を身につけてほしい」との声が多かったのですが、京都外大の取り組みについて教えていただけますか。

日野 直樹キャリアセンター長（以下、日）
これまでの教育の方向性としては、京都外大の特色である語学教育に軸足をおいてきました。語学力を活かせる業界として就活生の多くが、まずイメージするのはホテル・旅行・航空旅客・広告等です。でも、語学力を活かせる業界はまだまだあります。大きな可能性を認識することで視野が広がり、語学だけではなく色んなことを学び、チャレンジする意欲に繋がると考えています。京都外大では新たにキャリア形成に関するプログラムを正課授業として開始することを計画しています。1年次からキャリア形成を支援することが目的です。社会の先輩である企業経営者の講話等も織り込む予定です。京都外大に対しては多くの学生が想像しているよりも実に多種多様な求人がよせられています。例えばメーカーでも語学力を活かせる部署や仕事があります。

広 大きな可能性を意識することが学びやチャレンジの意欲につながり、その幅も広がるということですね。学びやチャレンジを通じて「将来の進路・生き方」を見つけて欲しいと思うのですが、その点についてはいかがでしょう。

日 まず、過保護は学生本人にとってプラスにはなりません。何を目指すか、どのように社会で生きていきたいか、学生本人を信頼して自ら考えるように任せることが大事だと思います。

広 一方、家族としては本人の"思いこみ"や"決めつけ"で進路や生き方を考えていないか？どうしても気になるのですが。

日 例えば、学生本人がホテル・旅行業界を目指しているといった場合、なぜ目指すのか問いかけ、本人の適性や得手・不得手にマッチしているか、あこがれだけで考えていないか、早い段階からそういったテーマについて家族でしっかり会話することが肝要です。

≪日野キャリアセンター長

広 なるほど、問いかけを繰り返すことで学生本人と家族が本人の将来について後悔しないように深く考えることができるのですね。ただ家族や学生本人が知っている業界や世間動向に対する情報にはどうしても限界があると思いますが。

日 学生自身やご家族の情報には限界があると思います。やはり、早い時期からキャリアセンターに興味を持ってもらうことが大事だと思います。限られた情報のみを拠りどころにして就活が始まってしまうと、キャリアセンターから学生本人が活躍出来そうな中堅優良企業からの求人を紹介しても見向きもしてくれないといった残念な事例があります。就活スタートまでに業界に対する固定観念を払拭し柔軟性を培うことがベターです。近年では特にホテル・旅行・航空旅客業界ではコロナ禍により求人の冷え込みがありました。こういった状況で、頭を切り替えて次の一歩を踏み出せる学生と頭が真っ白になって踏みとどまってしまう学生、両極端なケースが見受けられました。学生自身の生きがいにつながる業界や組織は単一ではないと考えています。

広 やはり、早期に多様な可能性に気付くことが大事なのですね。具体的に複数の業界や企業を深く調べることが出来る有効な方法はありますか。

日 インターンシップ等を通じて業界や企業を実際に体験することが有効だと思います。京都外大には1年次、2年次のインターンシップ受け入れオファーもあります。この時点では企業も純粋に業界や企業への知見を広げる事を目的としています。このような機会を通じて気になる業界や企業を自分の目で見て相性、適性を発見してもらいたいです。『京都外大生の可能性は多岐に亘ります。キャリアセンターに来れば意外でも知る人ぞ知る優良企業を紹介することができます。是非早い時期から相談してください。』

広 本日は学生と家族に寄り添った貴重なご意見ありがとうございました。COMMITに掲載し、後援会で共有します。センター長のお話で、多くの学生と家族の将来が明るくなると期待しています。本日はお忙しいところ後援会インタビューに対応頂きありがとうございました。

（広報部会　鶴村 和正）

健康サポートセンター

学生の皆さんが健康なキャンパスライフを送れるようにサポートしています。

保健室

学生・教職員の健康管理、健康相談、応急処置、医療機関の紹介、疾病や感染症に関する情報提供などを行い、皆さんが健康なキャンパスライフを送ることができるようサポートしています。

利用案内

開室時間 月曜日～金曜日 9:00～21:10／土曜日 9:00～17:00
※学校医・産業医在室時間：木曜日・金曜日 13:00～17:00

場所 3号館1階

TEL 075-322-6024

Email hoken@kufs.ac.jp

学生相談室

専門のカウンセラーが常駐し、対人関係や学業、将来への不安など、学生からの幅広い相談に応じています。学生本人についての内容であれば、ご家族の方もご相談いただけます。

利用案内

開室時間 月曜日～金曜日 10:30～18:30
※学校医（精神科医）による「心の健康相談」：
水曜日 11:00～14:00（授業期間中のみ）

場所 9号館5階

TEL 075-322-6025

障がい学生支援室

障がいや疾病のある学生だけでなく、学生生活を送るうえで不安やしんどさ、困りごとのある学生も相談できます。配慮、環境調整等が必要な場合は教職員と連携して支援を行います。

利用案内

開室時間 月曜日～金曜日 10:30～18:30

場所 9号館5階

TEL 075-925-6839

Email shien@kufs.ac.jp

※春期休暇中の開室時間

月曜日～金曜日
9:00～17:00
土曜日（保健室のみ開室）
9:00～17:00

学生生活に関する相談≫

「学生サポート」相談したいときは

アカデミック・アドバイザー（大学）・修学アドバイザー（短期大学）制度

本学には、アカデミック・アドバイザー（大学）および修学アドバイザー（短期大学）の制度があります。この制度により、教員を身近に感じ、気軽に相談できる存在であることを知ってもらうことで、修学上の疑問や学生生活の中で生じる様々な問題について質問や相談に応じられるようにしています。

特に、１年次生は大学生活の仲間入りをする大切な出発点、また２年次生は１年次に修得した学びの基礎を大学生活後半に向けてどのように展開していくかという重要な時期にあたります。このような大切な時期に、問題を一人で抱え込んだり未解決のままにしないよう、良き相談相手となり、大学生活が有意義になるよう手助けをします。

アカデミック・アドバイザーは、原則として、１・２年次生は必修科目を担当する専任教員、３・４年次生はゼミ科目を担当する専任教員（ロシア語学科１～４年次生は必修科目を担当する教員）、修学アドバイザーは、原則として、必修科目を担当する短期大学の専任教員が務めます。

上記アドバイザーを含め専任教員は、学生からの相談等に応じる「オフィスアワー」（履修登録の手引きを参照）を設けていますので、積極的に研究室を訪れてください。

なお、非常勤教員の授業に関する質問は、授業内はもちろんのこと、授業前後に行うか Kyoto Gaidai UNIPAの「クラスプロファイル」を活用してください。メールアドレスは、Kyoto Gaidai UNIPA のトップメニューで公開しています。

学生便覧

https://www.kufs.ac.jp/universitylife/handbook.html

事務室案内等

https://www.kufs.ac.jp/universitylife/student_services.html#anchor01

INFORMATION

外国語学部 フランス語学科 主催

「フランスワインとチーズを五感で学ぶ会」が開催されました

昨年の12月16日（金）、「フランスワインとチーズを五感で学ぶ会」が11号館2階ラウンジにて開催されました。学生たちにフランスの食文化に対する興味を持ってもらい、ワインやチーズ関連業界など就職の選択肢を広げることを目的に含んだワインイベントでした。

ワインソムリエの講習を聴きながら、ワインとチーズのマリアージュを楽しみつつ、香りと味わいを学ぶことができる、まさに五感で学ぶ素晴らしい会で、参加した学生の皆さんはしっかりと写真やメモを取り、とても熱心に学んでいました。残念ながら1年次の方々は香りのみ楽しむ形になりましたが、来年度は是非試飲していただきたいと思います。

（広報部会　福田 孝子）

役員会

3月4日（土）京都外国語大学にて2022年（令和4年）度第2回役員会が開催されました。役員会では2022年度の事業等の報告、2023年度の事業計画案等についての審議がなされ、役員会終了後には「しょうざんリゾート京都」にて懇親会を行い、食事をしながらの自己紹介やクイズなど楽しい時間を過ごしました。食後は庭園で観梅するなど更に交流を深めたのち、引き続き希望者のみ清水寺に場所を移し、散策を楽しみました。　（広報部会　三井 亜耶）

受験料 実質 ¥0 ゼロ！

後援会では年2回 語学検定試験受験料 全額助成しています

詳しくはこちら▶▶▶

2022年度 延べ2,200名の学生に助成！

※2023年2月現在

【問い合わせ先】ランゲージセンター（4号館3階）　TEL.（075）925−5369

申請方法、申請期間、支給方法については、助成金に関するホームページにて確認してください。

※新型コロナウイルスの影響により変更または中止となる場合がございます。

編集後記

ようやく通常の生活が戻りつつあるように感じる一年でした。教育懇談会や外大祭などに取材を通して参加しましたが、コロナ前のような活気や明るさが見られて皆さんとても楽しそうに見えました。後援会行事の委員交流会では京都日帰りバスツアーがありました。行った先々には、たくさんの観光客、特に外国人の方が多く見られたのもニュースで知っているつもりでしたが、目の当たりにして驚きました。どなたもマスク姿でしたが自由に出掛けられる状況になったことに、喜ばしい気持ちになりました。

広報部会で活動し始めて4年が経ちました。これからもCOMMITを皆さまの手に取って見たくなるような紙面づくりを心掛け、疑問や興味に応える情報を発信できるように頑張ります。

（広報部会　石上 千寿）